



未来の自分と対話する(5月14日の朝礼での話から)

新学期がスタートし、一か月以上が経ちました。皆さんの中に人間関係で悩んだり、勉強について行けるか不安になったりしている人はいませんか？特に一年生は初めての中学校生活です。そろそろ緊張も解けてきたでしょうが、同時に疲れも出てくる頃です。

ところで皆さんは、アンジェラアキさんの「手紙」という歌を知っていますか？「十五の君に」と副題のついたこの曲の歌詞を、下に紹介しておきます。

歌詞も、曲も素晴らしいのですが、私が一番気に入っているのは、大きな悩みを抱えた15歳の少年が、他人ではなく、未来の自分と対話しているという設定です。今の自分は力不足で、どうすることもできないけれど、成長した自分から今の自分を見ると、ずいぶん気が楽になることがたくさんあります。

例えば友達とケンカして悩んでいるとき、ひどい場合にはいじめにあってつらく落ち込んでいても、そんな辛さが一生続くわけではありません。きっといつか消えて無くなることでしょ。本当にそうかなと思う人は、過去の出来事を思い出して下さい。誰でも一度や二度は辛い時代があったのではないですか？しかし、今は解決したのか消滅してしまって、すっかり無くなっているのではないのでしょうか。それに、悩んでいるのは自分だけでなく、大人だって同じです。大人にも悩みはいっぱいあって、けっこう大変なんですよ。だから、大事なことは今を精一杯生きることに尽きます。

この歌を聴くと大人の私も気分が楽になります。

「手紙」 十五の君に

「拝啓 この手紙読んでいるあなたは どこで何をしているのだろう 十五の僕には誰にも話せない 悩みの種があるのです」で始まる素晴らしい歌詞なのですが、残念ながら著作権の関係でHPに載せることはできません。この歌を知っている人も多いでしょうが、是非もう一度歌詞の意味を考えながら聞いて下さい。